



令和5年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行  
http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/



10月(神無月)

## 子どもがもっている力を引き出す

校長 小倉 孝行



運動会で披露するソーラン節の練習をする5年生

日中はまだ蒸し暑いですが、朝夕の少し涼しい風に秋を感じます。二者面談ではご多用の中、来校いただきありがとうございます。また、校内を歩いていると、家でのお子さんの様子やご意見をお聞かせいただいた保護者の方もいらっしゃいました。とても参考になりました。ありがとうございました。

先日、ある児童が私に「何で、勉強してるの?」と素直な質問をしてくれました。そばにいた上級生が「勉強すると、いろんなことが考えられるようになるんだよ。」と。立派な子どもたち。きっとご家庭でも、そのような話をしているのだらうと思いました。子どもたちの会話を聞き、私は学生のころに見た映画「男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日」(1988年公開)のワンシーンを思い出しました。受験勉強中の、寅さんの甥 満男が「何のために勉強するのかな?」と寅さんに尋ねます。すると「人間、長い間生きてりゃ、いろんなことにぶつかるだろ。なあ。(中略)勉強したやつは自分の頭できちんと筋道を立てて、はて、こういうときはどうしたらいいかなど考えることができるんだ。」と答えます。これは今の教育(学習指導要領)につながる考えです。生きていく上で大切な力というのは、今も昔も大きく変わっていないのかもしれませんが、ですが、今後さらに社会の状況が変化し、子どもたちが10年、20年後、社会のリーダーとして活躍するとき、一人ではなく誰かと協働して知識や知恵を出し合い、より複雑な課題を解決したり、判断したりする力などは必要になるでしょう。そして数値では図りにくい、困難なことへ挑戦する意欲、粘り強さ、他者と協力する気持ち、自分の感情をコントロールする力など(「社会情動的能力」と言うそうです)は一層求められると言われています。

運動会の練習が本格的に始まりました。今年のスローガンは「一人ひとりがチャレンジャー! 100周年に向けて輝こう!!」です。演技の練習をしている子どもたちを見てみると、小さなグループごとになり「もっとジャンプするといいよ。」「サッと背中を見せたほうがかっこいいよ。」と声をかけあっていました。中には「おれも苦手だから、ちょっとずつやろうぜ。」と小さな声で仲間を励ましている児童もいました。子どもたちの心の中に、みんなで成功させたいという思いが芽生えているんだと感じます。約1か月間、子どもたちは試行錯誤しながら、自分たちで決めた目標に向けて挑戦します。子どもが、そもそももっている優しさや、能力を、いかに大人たちで引き出すことができるかが重要だと考えます。学校では、子どもたちがより運動会で達成感を味わえるよう、丁寧な意識付けや、子どもを認める声かけをしながら活動してまいります。ご家庭でも練習の様子を聞いていただき、ぜひお子さんの日々の頑張りを褒めていただければ幸いです。

感染症が流行しています。また、夏の疲れが出やすい時期です。皆様どうぞお身体にはお気を付けてください。10月もよろしくお願いたします。

### ○生麦小学校学援隊 定例会実施 交通事故防止の呼びかけをお願いします

9月27日(水)に学援隊の定例会を行いました。隊長の浜田利文様をはじめボランティアの皆様から登校の様子について「子どもたちは道のはじをきちんと歩いている。」「気持ちよい挨拶をしてくれる。」「などのお話をいただきました。また、朝夕の道路(特に、幹線道路につながるいわゆる「抜け道」など)でスピードの速い自動車、オートバイがある、自転車運転時のヘルメット着用の有効性などについてもお聞きしました。ご家庭でも交通安全について、お話しただけであればありがたいです。また、「生麦小学校前」交差点において、歩いて国道15号線を渡るときは歩道橋を使うことも改めてお伝えください。

### ○「第1回 なまむぎ 秋の夜市」開催 生麦の子どものためにありがとうございました

9月9日(土)に行われました「第1回 なまむぎ 秋の夜市」(主催 麦友会)では、生麦小学校を活用いただきありがとうございました。関係者の皆様のお話を伺いますと、生麦の子どものために開催いただいたとお聞きしました。子どもたち、そして保護者、地域の皆様と、教職員の笑顔を見られたことは非常にうれしかったです。ありがとうございました。